【課題1】「これまでの修学内容（卒業研究等）について」

注意事項（本欄は提出時は削除してください）

氏名・現在の専門・希望研究室はダブルクリックして入力してください。

※は記入しないでください。

卒業研究として取り組んでいる研究内容について説明してください。

（開始していない場合には今まで履修してきた科目内容、興味を持って学修してきたことについて記載してください。）

題名:　 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(以下、内容を記載)

（行間見本: 配布時は削除）

注意事項 (本欄は印刷時には削除してください):

現在の専門は、面接担当教員を決める際に参考にします。今まで取り組んできた学問分野や研究分野を端的に示す分野名をわかりやすく記入してください。

希望研究室は、課題2に関係する研究室を示してください。第1回入試では、入試時配属制度\*の配属先になります。未記入の場合、本制度を希望しないものと判断します。（合否には関係ありません．）

\*入試時配属制度の詳細については、

<https://mswebs.naist.jp/01.pdf>

をご確認ください。

物質創成科学領域には、物性・デバイス・化学・バイオマテリアルズという幅広い分野、および社会的要請の強い特定分野の優秀な研究者が集まっており、物質の仕組みを深く理解し、新しい材料や機能を創成しています。新しい材料やデバイスの開発は、最先端技術を支えている基盤技術です。物質創成科学領域では、これらの新材料の構造・性質・機能の関係を電子レベル、原子レベル、分子レベルから、基礎的に解明すると同時に、マテリアルインフォマティクスの技術も取り入れて多様な新機能物質を設計・創成し、新しいデバイス開発に結び付けるトータルエンジニアリングを行っています。その研究成果は、新理論の構築、新現象の発見、新機能材料の創成、新デバイス、新技術の提供、革新的な装置の発明などとして結実し、私たちの未来を豊かにします。物質科学の新しい先端融合領域に果敢に挑戦できる学生の皆さんを歓迎します。恵まれた研究・教育環境の下で、物質創成科学領域の新しい伝統を築きあげていきましょう。

(MS明朝 11pt)



図表について (本欄は印刷時には削除してください):

重要な説明には、なるべく図、表、数式、化学反応式、化学構造式などを使って下さい。

面接における口述発表や口頭試問では、小論文の図を引用して説明することが出来ます。図は白黒で印刷されます。色分けされたデータは区別できません。必要に応じてタグをつけてください。

【課題1】続き

注意事項 (本欄は印刷時には削除してください):

課題1と課題2の分量は目安です。

【課題2】「本学において取り組みたい研究分野・課題について」

本学において取り組みたい研究分野・課題について記載してください。